

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-07-10
事務事業名	吉永病院診療事業	根拠法令・要綱等	医療法・備前市国民健康保険院条例
事業開始年度	平成17年～	問合せ先	担当課(室) 市立吉永病院 事務部 職・氏名 医事係長 尾崎嘉代 電話 (0869)84-2120
総合計画	大項目 基本目標 健康でやさしさあふれるまちづくり 中項目 基本施策 健やかで生き生きしたまちづくり 小項目 施策 病院事業		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	出資者である市民
目的(何のために)	安全で質の高い医療サービスを提供し、親しまれ、信頼され、必要とされる病院となる
行政活動(どのような方法で)	情報の収集につとめ、研修への参加等を通して、知識や技術を向上させ、患者さんの立場に立つて職務にあたる
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	安心して安全な医療が受けられる環境を整え、良質で適正な医療の提供により患者数の増加を図る

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	入院患者数	人		17,614	17,501	17,441
	外来患者数	人		101,487	107,480	105,507
	直接事業費	千円		872,048	917,136	1,207,397
	人件費	千円		569,170	587,935	671,931
	事業費計	千円		1,441,218	1,505,071	1,879,328
	国県支出金	千円				
	受益者負担	千円				
	市債	千円				
	その他収益的収入	千円		1,441,218	1,505,071	1,879,328
必要人員		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
必要人員	人		76.60	86.40	92.24	
結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
入院患者延数	説明	一般病床 = 50床				
結果指標	結果指標量	人	17,614	17,501	17,441	
	対前年比	%	-	99.4%	99.7%	
	活動コスト	円	555,945,853	586,240,983	662,968,162	
	単位当たりコスト	円	31,563	33,498	38,012	
結果指標	結果指標	人	101,487	107,480	105,507	
	対前年比	%	-	105.9%	98.2%	
	活動コスト	円	859,060,319	888,843,591	1,190,446,805	
	単位当たりコスト	円	8,465	8,270	11,283	

事業の成果			
成果指標名	入院・外来患者延数の推移	式又は説明	1日平均患者数(入院・外来別) 入院 = 結果指標量/365日又は366日 外来 = 結果指標量/診療実日数
成果指標量	17年度 入院 = 48.3人 外来 = 345.2人	18年度 入院 = 47.9人 外来 = 369.3人	19年度 入院 = 47.8人 外来 = 358.9人
対前年比	入院 = 99.2% 外来 = 107.0%	入院 = 99.8% 外来 = 97.2%	
到達目標値	入院: 47.5人(稼働率95%) 外来: 355人/日	到達目標年度	毎年

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	A
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	毎年市民意識調査において、病院事業は重要度が高いと評価されている。安全で質の高い医療、介護サービスを提供し、市民から信頼され、必要とされる病院となるよう更に努力する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外には方法はない	
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E>	B
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	課題認識	今年度は旧病院取り壊しに伴う特別損失が事業費を押し上げた。医療法改正のたびに、経営環境は悪化しており、コスト削減に真摯に取り組む必要がある。職員全員がコスト意識を強く持って業務にあたるのが重要になってきている。
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A-E>	B
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	課題認識	入院・外来部門ともには成熟状態であり、収入増はあまり期待できない。コストを削減する一方、健診部門で収入増を図り、健全経営を回復させる。
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	入院、外来患者数とも横ばいの状態である。健診部門は増加している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 延入院患者数 = 17,385人	結果指標量 延外来患者数 = 104,725人	
成果指標量	入院患者数48.0人/日 外来患者数355.0人/日		

総合評価		評価区分<A-E>	B
入院、外来ともに昨年対比で両部門で微減となったが、いずれも上限に近い数字であり、今後、大幅な増は期待できないと考えられる。また、健診部門については、増加する可能性があると考えられる。評価ににくいのが、患者さんの満足度等、サービス容についても配慮する必要があるのではないだろうか。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	診療事業のみとする。	次回見直し時	目的がはっきりする。